

園芸学科通信 第8号

校外学習(現地見学研修)を受講
多賀大社・胡宮神社・西明寺
講師 北村 正隆 氏

5月に入り、樹々も新緑が濃くなったこの季節、最初の選択講座「校外学習」を受講しました。今回の講座は、北村正隆講師と共に現地を訪れ庭園や樹木を見ること。また、その場所が何時、誰によって建てられたのかなど、この建物や庭園が、いかなる歴史をたどってきたのかを学ぶことでした。



その後、場所を国の名勝に指定されている「奥書院や庭園」に移しながら多賀大社の内部を見学しました。奥書院庭園は、安土桃山時代に作られた池泉鑑賞式の庭園で、天正十六年(1588年)豊臣秀吉が母、大政所の病氣平癒を祈願して奉納された米一万石をもとに築造されたと伝えられています。



多賀大社の見学を終え、徒歩で駐車場に移動、再び分乗し多賀町御満寺に着。この日は「胡宮神社」に移動しました。ここではレイカディア大学の卒業生とボランティアが案内してくれました。胡宮神社には多くの樹木に囲まれた広大な境内を歩きながら説明を受けました。特に、園芸学科として関心を持っていた「胡宮神社社務所庭園」が、工事のため立ち入りができなかったことが残念でした。この社務所は、敬満寺の福寿院であったが、その庭園は、室町時代末期の作庭で、書院から眺めるように作られています。この庭園は、「胡宮神社社務所庭園」として国の名勝に指定されています。



国名勝の庭園は工事中で、境内で説明を受ける

現地見学の最後は、紅葉の名所、不登楼で有名な「西明寺」です。再び分乗して訪れたこのお寺は、国宝、三重塔など境内には見学する箇所が多くありますが、園芸学科としては庭園を外れず、ここではみせん。まず勝蓮園(蓮葉庭)に、この庭園は、江戸初期・友閑の作庭で池泉鑑賞式で鶴亀を形どった石組



レイカディア大学・米原校

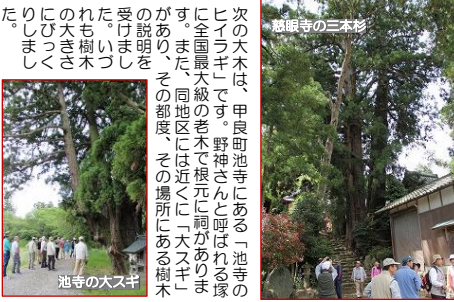
みや山の傾斜などを巧みに生かした、調和がとれた庭園でした。広大な境内を回りながら樹木の剪定や石組みの様子を見て、昔の人のバウを感じました。



池寺のヒイラギ

校外学習
巨木・名木を訪ねる(湖東)
三本杉・ヒイラギ・ハナギキ・黒松
タコスギ・ヒダリマキギ・黒松
講師 田上 知 氏

5月の校外学習2回目は、「巨木・名木を訪ねる」研修を実施しました。県内には有名な巨木・名木がありますが、今回は湖東地区を巡りました。5月16日、晴天に恵まれた文化産業会館正面玄関前に集合した参加者は、バスで現地向かいました。途中、彦根駅で残りのメンバーと合流し、彦根市野田山町の慈眼寺境内の「三本杉」を見学しその大きさに圧倒されました。



池寺の大スギ

その後、東近江市北花沢の「ハナノキ」、日野町正法寺の「フジ」、熊野の「ヒダリマキギ・タコスギ」を順次見学しました。最後に行った、本誓寺のクロマツは、鶴が翼を広げて飛び姿に似ていることから「青鶴松」と言われており、その姿は見るものを圧倒させるほどでした。



池寺のヒイラギ



本誓寺のクロマツ



熊野のタコスギ

必須講座「ボランティアの日」
30期3学科合同で地域活動体験
・五先賢の館 小谷山一日回廊行
レイカディア大学米原校の設立目的の一つである「学生が地域活動を体験し、地域住民と共に地域の課題に取り組み力を身につけること」であり、第39期生3学科合同で必須講座「ボランティアの日」の地域活動体験を行うため、地域活動委員会が中心となり校外学習を実施しました。晴天に恵まれた5月12日朝、第39期生一同は、五先賢の館(長浜市北野町)に集合しました。地域住民による現地説明の備の2班に分かれて作業を開始しました。五先賢にまつわる史跡周辺を歩く「一日回廊行」コースの整備は、崩れた登山道や倒木の撤去を行いながら全コースを点検しました。小谷城山丸で昼食後、回廊行コースを踏破し下山。館に集まり一日のまとめを行い解散しました。



池寺の大スギ

校外学習・樹木剪定実習を受講
長浜ハイオ大学下△周辺整備
講師 北村 正隆 氏 と サボト 隊



本誓寺のクロマツ

5月23日、教林坊の庭園管理を実施しました。教林坊は安土町にあり、605年聖徳太子によって創建され、小堀遠州の作庭と言われた庭園があります。当日は、庭園内のツツジやもみじ等の剪定を、北村先生のアドバイスを聞きながら行いました。今後、課題学習で教林坊の庭園管理作業は、6月以降も実施する予定です。



伊吹山頂・西洋タンポポ除草に参加



伊吹山頂・西洋タンポポ除草に参加